

## ■協力者へのお願い

日本産婦人科医会先天異常モニタリングへのご協力のお願い

先天異常モニタリングは、妊娠環境(妊娠中のくすりの服用など)からおこる、胎児への先天異常・毒性の危険性を察知するために行います。この先天異常モニタリングは、かつての薬害悲劇『サリドマイド事件』をきっかけに、1970年ごろからWHO国際先天異常監視研究機構を中心に誕生し、これまで第2のサリドマイド事件の発生を防いできました。日本では日本産婦人科医会の先天異常モニタリング協力病院330病院がその役割を担い、1972年以降、絶え間なく日本で唯一の監視機関(WHO関連の国際先天異常監視研究機構の加盟国)としてその責任を果たし、皆さまの赤ちゃんの安全確保のため監視を続けております。本施設は、この全国で登録された330病院(全国で毎年約10万人の妊婦さんが協力)のひとつとして、先天異常モニタリング事業に協力をしております。皆さまの診療情報から、先天異常モニタリング監視に必要なデータの部分のみを、全国集計データとして組み込ませていただきたくお願いしております。個人の情報(お名前、カルテ番号、住所、電話など)は集計にはまったく必要ありませんので、切り離してどなたのデータかわからない形で集計に組み込まれることとなります。後々追加調査等のお尋ねをすることもありません。

これからの次代を担う世代、また、私ども自身の身の周りの安全をまもるため、何卒本モニタリング事業にご理解とご協力をお願いいたします。

■ご質問、ご希望のある方はスタッフ・職員までお申し出ください。

■また、本事業にご協力いただけない場合でも、本施設における診療には何ら不利益・支障はございませんので、ご遠慮なくお申し出ください。

■当院で個人名が全く切り離されて集計されるデータは以下のとおりです。

妊婦さんからは 年齢、妊産回数、妊娠中の異常、対応、出産週数、出産月

赤ちゃんからは 性別、異常の有無、状況、検査、体重 となっています。

■本事業の報告は、クリアリングハウス国際モニタリングセンター日本支部ホームページ(<https://www.icbdsrj.jp/>)、日本産婦人科医会ホームページ(<http://www.jaog.or.jp/>)、国際先天異常監視機構WHO関連機構(<http://www.icbdsr.org/>)でもご覧になれるほか、国際先天異常監視研究機構世界代表者会議、学会等において発表、刊行物となっております。

■本事業は厚生労働省『人を対象とする医学系研究に関する倫理指針』に従い、横浜市立大学医学研究倫理委員会において承認されております。

文責 日本産婦人科医会先天異常モニタリング

クリアリングハウス国際モニタリングセンター日本支部

日本プログラム代表

平原史樹